

平成30年5月吉日

一般財団法人兵庫陸上競技協会
加入陸上競技協会 会長様

一般財団法人兵庫陸上競技協会
会長 西川公明

一般財団法人兵庫陸上競技協会機関誌の配布について（依頼）

新緑の候 貴協会に於かれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本協会の進展にご理解・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、かねてから念願の兵庫陸上競技協会機関誌「兵庫陸協だより」が出来上がりました。

創刊号ですので、協会の紹介を主に編集しております。

第2号誌からは、県内の陸上競技に関係することを中心に据え編集をする予定です。

つきましては、送付しますのでご覧いただき、市・町・体育施設及び関係クラブ等に配布・掲示をお願いします。

お手数をお掛けしますが、一人でも多くの市民・町民の方々に兵庫陸協の広報が出来ますようご協力をお願い申し上げます。

なお、ご意見・ご要望等がございましたら、本協会事務局までご連絡を下さいますよう合わせてお願い申し上げます。

651-0076

神戸市中央区吾妻通4-1-6

神戸市生涯学習支援センター内

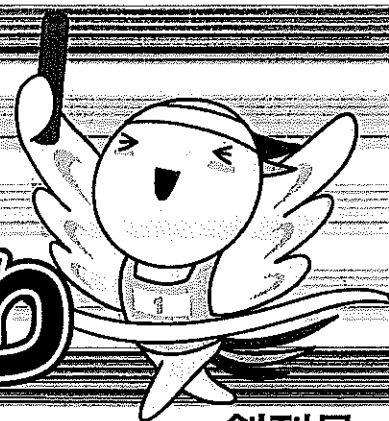
(一財) 兵庫陸上競技協会

Tel 078-231-1771

Fax 078-231-1772



兵庫陸協だより



発行元(三財)兵庫陸上競技協会広報委員会 2018年5月31日

創刊号

機関誌発行によせて

(一財)兵庫陸上競技協会
会長 西川 公明

兵庫陸上競技協会は、昭和8年8月12日に誕生しました。85年前のことでした。平成23年4月に一般財団法人となりました。「この法人は、兵庫県の陸上競技界を統括し、代表する団体として、兵庫県の陸上競技の普及と振興、並びに競技力向上を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。」と記載されています。この目的に沿って活動し、協会の有り方を多くの人に周知していかなければならないと考えています。「時」の流れは、三重である。「未来」は、ためらいつつ近づき、「現在」は、矢のように早く飛び去り、「過去」は、永久に静かに立っている。(シーラー)「かつて賢人は以上の如く語られました。「過去」陸上競技協会は、日本一の運営能力があると自負しました。ユニバーシアード大会、日本選手権、国民体育大会と大きな大会を運営してきました。当時、先進的な機能を駆使した大会運営でした。然し現在では、全ての都道府県の競技協会が同じような運営をされています。「陸上王国兵庫」も今は昔の物語りになりました。「現在」は潮に流される船にはならず、そこに棹さしてでも協会の行く末をしっかりと見つめなければならない時を迎えております。「未来」に対して何を求め、何を為さねばならないのかを考える時期に陸上競技協会の機関誌を発行できることは、誠によるこぼしいことです。多くの陸上愛好家の応援を頂き、それが核となり、選手を、チームを育てていける事を多いに願っております。真の選手強化の意味がそこに誕生するのではないかと考えています。選手がチームが兵庫が強く、また多くの人に愛される一般財団法人兵庫陸上競技協会になれることを切に願っています。



今年度の話題の選手紹介

今回は、昨年度の日本選手権、全国高校総体、国体、U-18日本選手権と様々なタイトルを獲得した園田学園高校の 高良 彩花 選手を紹介いたします。中学校の記録は女子走幅跳6m12と日本中学歴代6位の記録をもち、高校では全国総体を2連覇し、現在の自己ベストは6m26と日本高校歴代7位の記録を持っています。昨シーズンでは、上記の4冠と輝かしい結果を残していた高良選手ですが、「全国総体の大会記録更新を達成できず悔しい思いをした」と振り返っており、高い目標のもと妥協はないところが強さの秘訣なのかもしれません。高良選手の持ち味である、高い助走スピードと強いバネにさらなる磨きをかけるため、この冬季練習でスピードと筋力アップに取り組んできたそうです。シーズン最初のシドニー遠征での大会において6m12で優勝するなど順調な滑り出しで、全国高校総体3連覇、日本高校記録更新、高校3冠(全国総体、国体、U-20日本選手権)の目標も遠くないかもしれません。また、2020年の東京オリンピック世代の1人として、今後の活躍に期待が高まります。海外の経験も積みながら、将来世界にはばたく選手になることを期待しています。



委員会紹介

総務委員会

委員会活動内容は、各大会涉外、調整、準備、近畿選手権申し込み作業、各競技会の会計、大会庶務、プログラム、記録集(トップ50)・記念誌・記録証明書などの販売と発行などをおこなっています。また、リレーカーニバルや大きな大会では、競技会での役員配置、ミックスゾーンからのメディア対応、表彰関係、庶務関係、販売関係、発行関係と1名ずつ配置し、競技会の裏方的な業務をおこなっています。

今回の機関紙発刊では、各委員会をまとめる部署として広報活動に頑張っています。

これからの競技会でも、より選手に優しく、観客には楽しく見せる運営を心がけていきます。

競技委員会

①公認競技会申請・日程調整・決定

年間に約280の公認競技会が開催され、これらの競技会が公認競技会の要件を満たしているか審査し、日本陸連への申請手続きをおこなっています。

②主催競技会の要項作成とプログラム編成

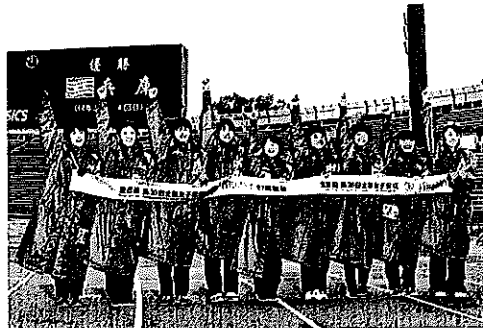
各競技の組数等を決定し、番組編成やタイムテーブル、競技注意事項を作成しています。

2018年度はより競技者がパフォーマンスしやすく、観客が楽しめ、さらに競技役員の負担が軽減できる大会を目指して活動していきます。

強化委員会

主な活動は、選手強化事業の実施や国民体育大会および都道府県対抗駅伝の選手団引率です。国民体育大会では体育協会が掲げる天皇杯及び皇后杯8位以内入賞を目標にしています。そのために、8月には石川県で、3月には明石市で合宿や強化練習会をおこない、選手の強化および選手の選考をしています。2017年の愛媛国体では、天皇杯第4位、

皇后杯第2位の好成績を上げ、都道府県対抗駅伝においては14年ぶりに女子が優勝をするなど好成績を収めることができました。中学校、高校、大学、実業団と各チームの枠を超えて、チーム兵庫として、さらなる飛躍を目指し、活動しています。



神戸新聞社提供

審判委員会

審判委員会の業務は、競技会ルールの厳守と各競技会審判依頼、講習会の運営です。新規審判員への取得講習や継続審判員への伝達講習を行っています。

競技会の権威と記録の信頼性の確保のため、競技会の規模を問わず、多くの公認審判員が必要となります。

審判資格にはB級・A級・S級があり、B級公認審判員資格は「18歳以上」で陸上競技のクラブの登録会員(クラブに所属しない場合は各加盟団体の登録競技者)であれば講習・実習を受け、取得できます。陸上競技の審判資格は、他のスポーツ審判資格と比べると比較的簡単に取得することができます。

ぜひ、選手・指導者に限らず、審判資格を取得してください。

情報委員会

①競技会のプログラム編成

出場希望者の申込メールにより、プログラム編成し、スタートリストは兵庫陸協のホームページにアップしています。

②記録の調査・申請

競技会後の記録集を関係部署に送付しています。

③記録順位の作成

年度末に記録集(トップ50)を作成しています。そ

の年度に樹立された兵庫県記録とスポーツ優秀選手賞受賞者、全国で活躍した選手の写真を掲載しています。

④ホームページの管理

本協会から情報を掲載しています。大会情報では、各競技会の要項、申込ファイル、スタートリスト、競技会後のリザルト、成績一覧を掲載しています。

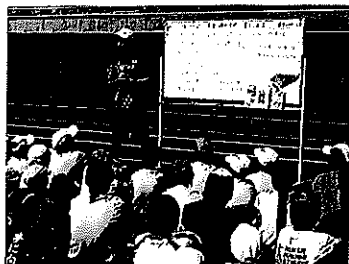
◎人◎ 施設委員会 ◎人◎

県内には、神戸マラソンのコースをはじめ35もの公認競技場・競走路・競歩路があります。施設委員会では主に、これらの施設・コースの公認検定作業や用器具の設置確認作業を行っています。昨年の神戸マラソンでは、コースが一部変更となりましたが、このマラソンコースの測り方はご存じですか？ 実は「長距離競走路ならびに競歩路公認に関する細則」に規定されており50mのワイヤーロープを使う方法と、自転車にカウンターを付けて計測する方法の2種類があります。神戸マラソンでは後者の自転車による計測を実施しており、交通量の少なくなった深夜の時間帯に、自転車計測員が神戸の街を疾走しています。

○普及委員会○

陸上競技の普及を目的として、小学生を対象とした記録会・全国大会予選会・県小学生大会・駅伝大会などの競技会運営をしています。夏休みには全国大会出場選手対象の練習会や、全児童を対象とした講習会も行っています。また、指導者育成として、2017年度はU-13クリニックや、指導者研修会等を開催しました。さらに、陸上競技協会に登録していない、一般の方を対象とした記録会も実施しています。

今後の課題として、教員の働き方改革の流れから、



教員がスポーツ活動の指導を行わないという自治体があり、参加者の減少が考えられます。それを抑えるために、競

技会や練習会の広報活動の一層の充実と、参加したい、参加しやすいと感じられる競技会運営をおこなっていきます。

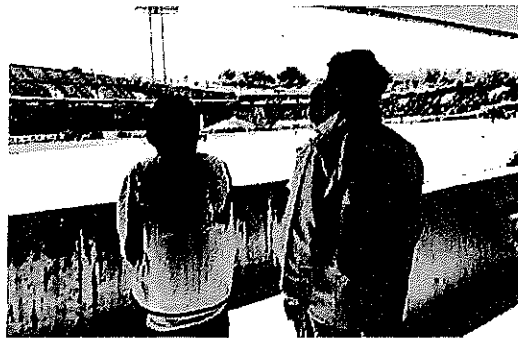
◎女子委員会◎

女子選手と女性指導者の育成を目標に始めましたが、現在は全ての陸上競技を愛するの方々のお役に立つことを目指して活動しています。2017年度は、北京五輪陸上女子5000メートル代表の小林祐梨子さんに「人との絆（たすき）に込めた想い」の演題でご講演いただきました。夢と目標を明確に持つことの大切さや、コーチングのあり方、チームワーク、支えてくださる方々への感謝の気持ちなど、とても感動的でした。

今までには「怪我をしない体づくり」や「テーピング実践法」やアンケートを実施してきました。今後もさらにお役に立てる活動を計画する予定です。

★医事委員会★

医師5名と日本陸連に登録されているトレーナー36名が所属し、主な活動として、大会の救護活動に携わっています。救護活動とは選手が安心・安全・円滑に競技出来るように、大会中の転倒・接触・体調不良等による選手の搬送・怪我の処置をおこないます。また、そのような選手をいち早く発見できるように競技中は常に2～5箇所の地点でトレーナーが選手を観察し、医師・看護師が常駐する医務室へ搬送し、処置をおこないます。以上のような救護体制は、全国でもトップクラスです。さらに、国体合宿や国体・都道府県駅伝にトレーナーが帯同し、選手たちのケアやコンディショニングをおこないます。



お知らせ

平成30年度の役員です。協会組織図・会議組織図とあわせてお知らせいたします。

平成30年度 役員 (平成30年4月)

名誉会長	植月 正章
会長	西川 公明
副会長	柴田 洋 吉井 道昭 竹原 昇
顧問	櫻井 治 渡辺 昇 平川 隆一 井上 堅 吉井 健彦 柳川 昭男
参与	東原 武 浜中 保博 高田 俊 宮下 淳 吉村 純 渡辺 公二 池亀 治樹 池田 徹 宇高 敦子 山口 幹夫 吉村 直樹 高寄 俊秀
評議員	塩見 淳 藤田 和洋 松岡 紳介 西脇 泰司 武田 利雄 風隼 武博 肥塚 直樹 中川 治彦
専務理事	吉井 道昭
副専務理事	宮永 正俊 永里 初
常務理事	藤川 浩喜 秋山 秀文 本城 勝次 中川 廣信 釜江 憲史 五島 昇 松本 彰生 西盛 康子
理事	栗生 桂治 正木 一央 信近 清志 高橋 秀知 堀内 大司 荒木 弘行 岡田 厚志 毛笠 雅之 松本 俊裕 谷垣 歌悠里 榎本 隆夫 三木 慎也
監事	山口 雅典 三原 充廣

(一財) 兵庫陸上競技協会 委員会

総務委員会 強化委員会 競技委員会
審判委員会 情報委員会 普及委員会
施設委員会 女子委員会 医事委員会
財務委員会

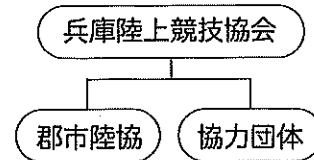
(一財) 兵庫陸上競技協会 加入団体

郡市陸上競技協会

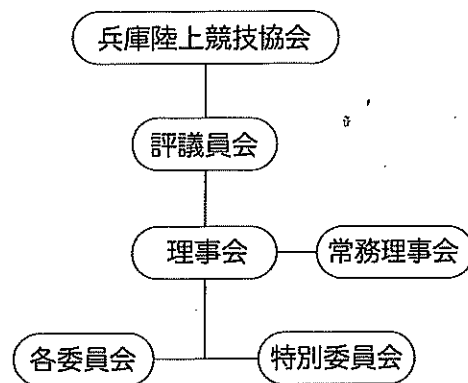
(一財) 兵庫陸上競技協会 協力団体

兵庫実業団陸上競技連盟
兵庫学生陸上競技連盟
兵庫県高体連陸上競技部
兵庫県中体連陸上競技部
兵庫マスタース陸上競技連盟

(一財) 兵庫陸上競技協会組織図 (I)



(一財) 兵庫陸上競技協会会議組織図 (II)



兵庫陸協だより 編集委員会

宮永 正俊 (編集委員長) 西盛 康子 (編集副委員長)
田中 暢人 正木 一央 山本 紀子 井澤 孝彦
岡田 愉久 吉井 克行 富永 大貴 望月由美子 (委員)

発行 一般財団法人兵庫陸上競技協会
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4-1-6
神戸市生涯学習支援センター内
TEL:078-231-1771 FAX:078-231-1772
<http://www.haaa.jp>